



いざ、夏休み!!

明日から、子どもたちの待ちに待った33日間の夏休みがスタートします。学校では、この夏休みを安全に、そして有意義に過ごすために、子どもたちと話し合ってきました。1日の生活予定を考えたり、学習計画を立てたりもしました。それを自己の責任の下に実践していくのが夏休みです。また、荒川地区では、【あいさつ・がまん・後始末・思いやり】を重視して教育活動を展開しています。この中の【がまん】の心を育てる絶好の機会にもなると考えています。

さて、『1.01と0.99の法則』というものがあります。

「1」を何回かけても答えは「1」です。よって「1」を33回かけても(33乗)、答えは「1」のままです。

では、この「1」よりもちょっと大きい「1.01」を33乗するとどうなるでしょう。また、この「1」よりもちょっと少ない「0.99」を33乗したらどうでしょう。そのさはわずか0.02ですが、計算してみると次のようになります。

1.01の33乗	=	約1.39
0.99の33乗	=	約0.72

このことは何を意味するでしょう。例えば、「1」を今の自分だとします。それにプラス0.01の自分、つまりほんのちょっとした努力を夏休みの期間毎日(33日)していけば、最終的

にはそれが約1.39に増えていきます。

逆に、マイナス0.01の自分、つまり早起きしないでいつまでも寝ていたり、さぼったりしながらちょっとずつマイナスで毎日過すと、もとの自分よりもぐんと小さくなり、約0.72になってしまいます。

わずか33日間ですが、ほんのちょっとした差で、大きく違ってきます。これが1年間(365日)として計算すると、「1.01」は「約37.8」、「0.99」は「約0.03」とその差はさらに大きくなっていきます。

まさに、夏休み期間の【がまん】の差が、以後の生活に大きく影響してくることになるのです。ぜひ、子どもたちには一回り大きくなって2学期を迎えてほしいです。



この1学期間、【笑顔とありがとうがふり注ぐ学校】を目指して取り組んできました。保護者や地域の皆様のご理解とご協力のお陰で、たくさんの笑顔と「ありがとう」の声がありました。感謝申し上げます。夏休み中、子どもたちは家庭・地域で過します。引き続き、声かけやご支援をよろしくお願い致します。(文責：校長)

輝く子どもたち ～ 終業式の発表 ～ 「1学期がんばったこと」

【1年】小林 さん

わたしは、1がっきにこくごのべんきょうをがんばりました。ひらがなをていねいにれんしゅうしました。じょうずになってよかったです。2がっきもがんばりたいです。

【2年】近 さん

わたしが1学期にがんばったことは三つあります。一つ目は、さんすうです。さんすうの「水のかさ」のべんきょうは、むずかしかったけど、なんどもやったらできました。二つ目は、こくごです。先生にヒントを教えてもらったら、すぐできました。三つ目は、くばりかかりのしごとです。くばるのをまちがえないようがんばりました。

【3年】近藤 さん

ぼくが1学期にがんばったことは、全校テストです。きょ年までとちがって、すごくむずかしくなったと思います。なかなか合かくできなくてこまりましたが、家でかん字や計算の問題を作ってもらって、合かくできるようにがんばりました。夏休みもふく習をがんばって、2学期の全校テストで百点をとれるようがんばります。

【4年】井上 さん

ぼくが1学期にがんばったことは、課外水泳です。クロールを25メートル泳ぐ練習をがんばりました。校内水泳記録会では、足をつかなくて25メートルを泳ぐことができたので、うれしかったです。もう一つは、算数です。三角じょうぎを使って、すい直や平行をかくことをがんばりました。夏休みは、宿題を1日に2ページ進めて、早めに宿題を終わらせたいです。

【5年】遠山 さん

1学期にがんばったことの一つ目は、ドリルです。最終チェックの日までに終わらせるようがんばりました。二つ目は、水泳です。苦手な平泳ぎは、何回も200メートルを泳いで練習しました。校内水泳記録会の100メートル平泳ぎでは、5年男子で1位をとることができました。三つ目は、勉強です。時々復習のおかげで、テストで高得点をとることができました。

【6年】須貝 さん

1学期にがんばったことの一つ目は、運動会です。ぼくは、ダンス係でした。最後に、「よさこい」の声をみんなで合わせてもらいました。ちょっときん張したけど、がんばって声を出せたのでよかったです。二つ目は、水泳です。5年生の時は、25メートルを泳ぐのがやっとでした。でも、6年生では、いっぱい練習して、50メートルを何回も泳げるようになりました。今では、クロール、平泳ぎ、背泳ぎの3種目泳げるようになりました。今後は、100メートル泳げるようがんばりたいです。

「いじめ見逃しゼロ強調期間」の取組を紹介します

【6月11日（月）～6月29日（金）】



6月21日（木）「道徳の日」に校長が全校に道徳授業を行いました。「ついていうそとついちゃいけないうそってどっちがうんだろう？」と子どもたちに問いかけ、わんぱくグループ毎に考えました。保護者や地域の方も交えて6年生

を中心にみんなで真剣にうそについて考えました。いくつかを紹介します。

○ついていうそ

- ・人が喜ぶうそ ・元気づけるうそ
- ・嫌な気持ちにならないうそ
- ・家の事情でつくうそ 等々

×ついちゃいけないうそ

- ・人が傷つくうそ ・悲しくなるうそ
- ・自分がおこられないようにつくうそ
- ・とにかくうそはダメ 等々

6月21日（木）「道徳の日」、授業参観後に保護者の方と教職員で「心の懇談会」を行いました。

下学年と上学年に分かれ、テーマに沿って話し合いを行いました。

日頃、保護者の方と教職員がこのような形でじっくりと話し合う機会はなかなか取ることができません。お互いの考えを知るとても有意義な話し合いになりました。



下学年「今日の授業は？」



上学年「我が家の心の教育」



6月29日（金）、小学一年生でなくなった丹後光祐さんの担任をされていた平丸紀子様を講師に、全校道徳「いのちのアサガオ」の授業を行いました。平丸様は昨年度、金屋小学校で勤務されていました。

子どもたちは、平丸様が話す光祐さんの学校での様子や闘病生活の様子に真剣に耳を傾けていました。

1学期の主な取組を紹介しました。2学期も「いじめ見逃しゼロ強調期間」があります。その期間はもちろんのこと、日頃から様々な取組を通じて子どもたちに、「いじめは絶対に許さない・見逃さない」という意識を育てていきます。



出逢いと経験は宝だ!

7月11日(水)、キャリア教育の一環でフリーアナウンサーの東村里恵子様を講師に高学年がコミュニケーションの授業を行いました。時折、笑いのおきる楽しい雰囲気の中、東村様は、ご自分の経験に基づいたコミュニケーションのコツを子どもたちに伝えました。



【コミュニケーションのコツ】

- ◎ 自己紹介ではフルネームを伝えましょう。
- ◎ 夢をもったら周りに伝えましょう。
→それを聞いた人たちが力を貸してくれます。
- ◎ 笑顔で話しましょう。
→声のトーンが変わります。

また東村様は、自分がアナウンサーになりたいという夢を親に伝えたとき、親から一度も否定的なことを言われなかったというエピソードを子どもたちに伝えました。それが、自分ではできるんじゃないかという思いに変わり、夢が実現したとも話していました。夏休みにお子さんと夢を話し合う課題もあります。ぜひお子さんの夢を受け止め、応援、励ましの声をかけていただきたいです。

自分の命を守るために

7月19日(木)、村上消防署山北分署の平山俊満様を講師に着衣水泳の授業を行いました。低・中・高学年に分かれ、1時間ずつ行いました。

海や川へ出かける機会が増える夏休みを前に子どもたちは、水から自分の命を守る方法を学びました。



【水から命を守る方法】

- ◎ 深さの分からない水に入る時は、岸に両手をつき、体をしっかり支え、岸にへそを向けながらゆっくり入り、足で深さを確かめる。
- ◎ 胸の高さくらいまでの水につかり、底の様子が分からない時は、手がかきながら前に進むのではなく、足で地面を確認して進む。
- ◎ ペットボトルなどの浮きを使って水に浮く時は、仰向けでへそを上突き出すように浮く。ペットボトルは胸や腹など自分が浮きやすいところで持つ。
- ◎ 胸にたくさん息をためるように呼吸し、浮く。

ありがとうございました

黒澤 先生〔育休職員復帰のため退職〕

2年前の青空マラソン大会の日から勤務させていただきました。その日の午後には就学時健診があり、その日からのおつき合いですでしたが、早!...大変お世話になりました。その間、全校の皆さんの成長ぶりを思うと、親御さんたちの姿と重なり微笑ましく思います。そして、そのまた上の親御さんたちや私がお世話になった地域の方々との再会は嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいでした。

今後も金屋っ子一人一人が心身共に健康で元気いっぱい活動し成長されることを願い、応援しています。

夏休み中の 閉庁日のお知らせ

村上市教育委員会の指導により、今年度から毎年、曜日に関係なく、8月12日～16日は閉庁日となり、学校が無人となります。緊急時は、下記までご連絡ください。村上市教育委員会を通じて校長に連絡が行きます。よろしくお願いいたします。

村上市教育委員会学校教育課 TEL 72-6882